切迫する宮城県沖地震と津波への対応

・都市の防災機能向上を図るため、都市計画道路並びに電線共同溝等の整備を推進します。

（具体箇所例）

補助：仙台駅東第二土地区画整理事業（仙台市）
　　仙台市あすと長町土地区画整理事業（仙台市）

●幅広の都市計画道路の整備によって空間を確保し、迅速な避難に資するとともに火災の延焼を防止します



▲平成7年1月兵庫県南部地震（神戸市HPより）



▲密集市街地の区画整理によって、幅広の道路用地が確保されつつある都市計画道路　元寺小路福室線。

（具体事例）

●地震に強いライフラインを確保



▲地震による電柱の倒壊で、電気・電話等ライフラインが寸断（イメージ）

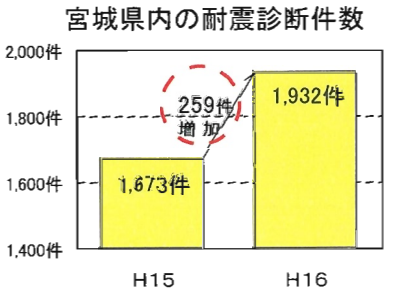


▲地中の電線共同溝内に電線・電話線等が収納されるため、地震に強いライフラインが確保されます。

・一般家屋耐震改修の推進（新規）

「住宅・建築物耐震改修等事業」などによる戸建て住宅の耐震改修にあたっては、東南海・南海地震防災対策推進地域等の大規模地震発生の危険性が高い地域が要件でしたが、耐震改修を推進するためこの要件を撤廃し、また新たに擁壁の耐震化を補助対象として追加します。

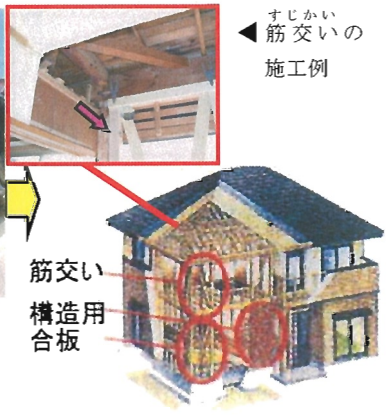
●一般家屋の耐震診断と耐震改修（住宅・建築物耐震改修等事業など）



▲宮城県内の耐震診断件数は、増加傾向



▲H15宮城県北部連続地震で倒壊した家屋。道路上に倒壊したため一時通行止めとなった



▲一般家屋の耐震改修イメージ

・緊急輸送路に指定されている橋梁や、緊急物資集積等の防災拠点となる岸壁の耐震化・補強を積極的に進めます。また地震等に対して安全な交通が確保できるよう道路の維持管理を計画的継続的に行います。

（具体箇所例）

直轄：　一般国道４５号　歌津（うたつ）大橋耐震補強

仙台塩釜港仙台港区　中野地区耐震強化岸壁　　（別冊P. 32）

補助：　釜石港須賀（すか）地区耐震強化岸壁　　（別冊P. 31）

●橋梁の耐震補強（一般国道45号　歌津大橋）



▲大きな地震に耐え、緊急輸送道路が確保できるよう耐震補強を実施

●岸壁の耐震化（仙台塩釜港仙台港区）

▼阪神淡路大震災における港湾活用の緊急物資輸送の例





▲大規模震災時における緊急物資の海上輸送の確保

・非常時・応急復旧時における緊急物資輸送路や主要幹線道路の代替ルートを確保するため、高規格幹線道路等の整備を進めます。

（具体的事例）

●一般国道45号の代替ルートとして機能する大船渡三陸道路（H17.3供用済）



・津波被害の軽減を図るため、湾口防波堤及び堤防・防潮水門等の整備を進めます。

（具体箇所例）

直轄：　釜石港湾口地区防波堤整備事業　（別冊P. 31）

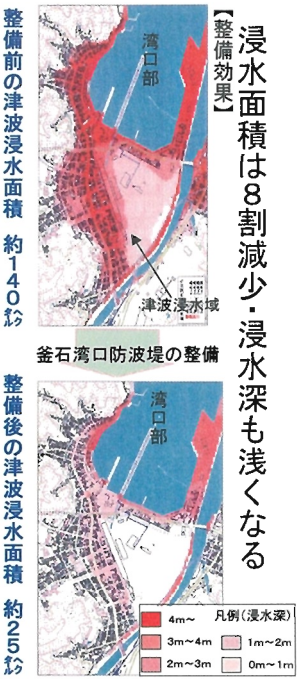
補助：　地震・高潮等対策河川事業（小槌川（こづちがわ）［岩手県］他４河川［宮城県］）

：　宮古港海岸高浜地区高潮対策事業（別冊P. 34）

●釜石湾口防波堤による津波被害の軽減



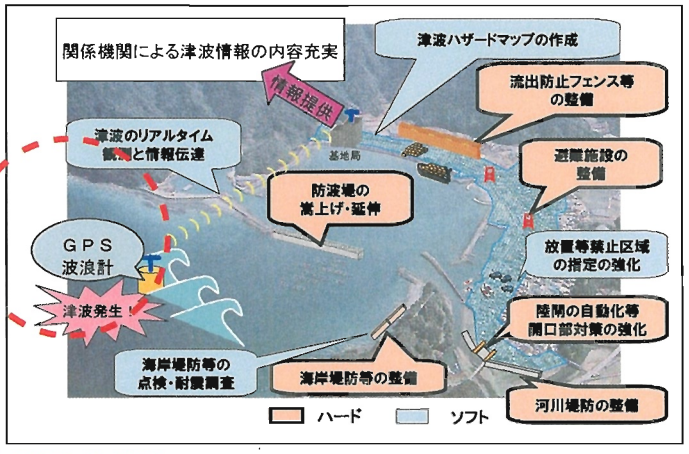
※湾口防波堤未整備時の津波浸水区域（明治三陸津波）



▲湾口防波堤の整備により釜石市街区の津波の浸水面積を大幅に減少（浸水面積が8割減少）。

・三陸地方沿岸を襲う津波に対して、GPS波浪計の導入による沖合での波浪観測高度化により、迅速な情報等の把握や活用に取り組みます。

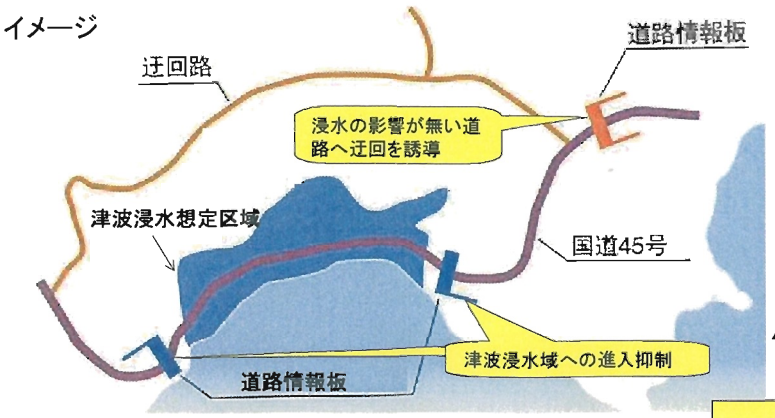
●GPS波浪計による沖合の津波等観測と港湾・沿岸域の津波対策（イメージ）



・道路情報板ガイダンスシステムの本格運用（新規）

津波情報、地震情報などを正確かつリアルタイムに道路情報板で提供するシステムを地整内道路関係事務所にて、本格的に運用します。

●道路情報板へ迅速に津波警報等情報を表示し、道路利用者等の安全を確保



▲道路情報板に津波警報等を表示し道路利用者の安全を確保します



▲道路情報板で津波情報を道路利用者等に伝達

…　道路利用者の安全確保に期待される効果